

2018年7月31日

報道関係各位

GMOメディア株式会社

**10代女子のhappyを研究する「プリキャンティーンズラボ」  
「夏休みとスマホの使い方に関する調査」を実施  
～約7割の子が「夏休みはスマホ利用時間が増える」と回答、  
平均増加時間は184.4分に～**

GMOインターネットグループのGMOメディア株式会社（代表取締役社長：森 輝幸 以下、GMOメディア）が運営する、10代の女の子に関する研究機関「プリキャンティーンズラボ byGMO（<http://lab.prcm.jp/>）」は、女子中高生を対象に「夏休みとスマホの使い方に関する調査」を実施いたしました。

<調査概要>

- 調査テーマ 夏休みとスマホの使い方に関する調査
- 調査対象 女子中高生
- 調査期間 2018年7月7日～2018年7月12日
- 調査方法 インターネットリサーチ
- 有効回答数 612名
- 調査主体 プリキャンティーンズラボ byGMO

\*本調査レポートの百分率表示は四捨五入で端数処理を行っており、合計しても100%とならない場合がございます。

【調査サマリー】

- 夏休みの予定は「期末テスト後」に立てる！リサーチ方法は「インターネット検索」が最多
- 夏休みにスマホを利用する時間「増える」が約7割  
↳増加時間は平均184.4分、「友達との連絡」が増える
- インターネットで知り合いができたことのある子は6割超！  
↳うち「実際に会ったことがある」子は約4割、相手は「同性」が多い結果に
- インターネットでトラブルに遭ったことがある女子中高生は約2割

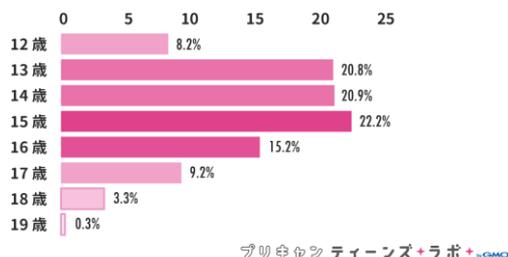
【調査結果】

■ 回答者の属性（図1～図3）

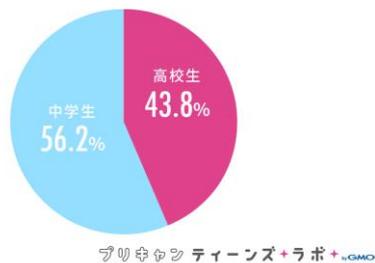
～13歳から15歳がボリュームゾーン、スマホのOSは「iOS」が過半数～

回答者の年齢は13歳～15歳がボリュームゾーンとなり、属性別では「中学生（56.2%）」が「高校生（43.8%）」を上回りました。また、スマホの所有率は99.0%と、ほとんどの子がスマホを持っている結果となり、利用しているスマホのOSは「iOS（54.4%）」が「Android（42.5%）」を上回りました。

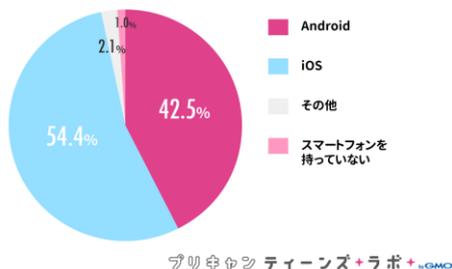
(図 1) アンケート参加者の年齢分布 [N=612 単一回答]



(図 2) アンケート参加者の属性 [N=612 単一回答]



(図 3) 利用しているスマホの OS [N=612 単一回答]



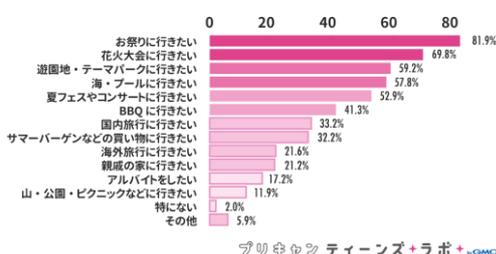
■夏休みの予定は「期末テスト後」に立てる！リサーチ方法は「インターネット検索」が最多 (図 4～図 6)

まず、女子中高生に「夏休みにやりたいこと」を聞きました。その結果、「お祭りに行きたい (81.9%)」が 8 割超で最多、次いで「花火大会に行きたい (69.8%)」が約 7 割となり、夏らしいイベントが上位にのびりました。

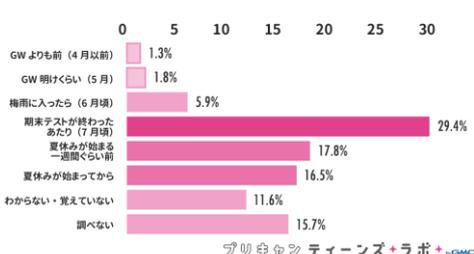
また、「夏休みの予定を調べ始めるタイミング」を尋ねたところ、「期末テストが終わったあたり (7 月頃) (29.4%)」が最多となりました。「夏休みが始まる一週間ぐらい前 (17.8%)」という回答と合計すると、約半数 (47.2%) の子が『期末テスト後から夏休みに入る直前のタイミング』で予定を立て始めることがわかりました。また、「夏休みが始まってから (16.5%)」や「調べない (15.7%)」という子も一定数いるようです。

さらに、「夏休みの予定を調べる方法」を尋ねたところ、「インターネット検索 (67.4%)」が約 7 割で最多となり、次いで「Twitter (43.8%)」「Instagram (42.7%)」と続きました。

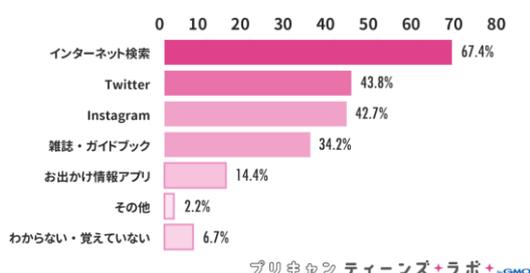
(図 4) 夏休みにやりたいこと [N=612 複数回答]



(図 5) 夏休みの予定を調べ始めるタイミング [N=612 単一回答]



(図 6) 夏休みの予定を調べる方法 [N=612 複数回答]



## ■夏休みにスマホを利用する時間「増える」が約7割（図7～図9）

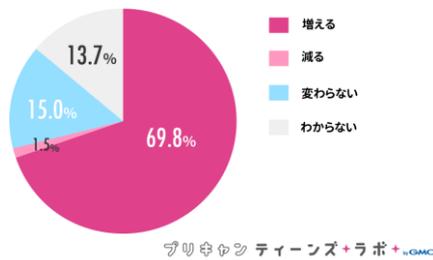
### ～増加時間は平均184.4分、「友達との連絡」が増える～

続いて女子中高生に、夏休みになるとスマホを利用する時間が増えるかどうかを尋ねたところ、約7割の子が「増える（69.8%）」と答えました。「増える」と答えた子に、普段よりも1日あたりどのぐらい増えるのかを質問したところ、「2～3時間未満（28.6%）」が約3割で最多となり、次いで「5時間以上（23.9%）」と答えた子も2割超に上りました。また、夏休みにスマホを利用する時間が増えると答えた子の平均増加時間は、184.4分（約3時間）となりました<sup>(※1)</sup>。

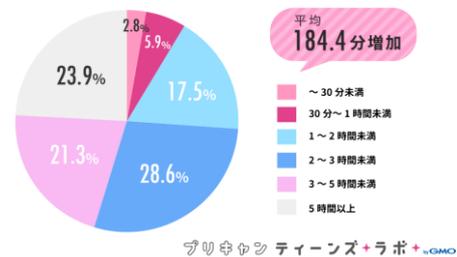
さらに、「利用時間が増えること」を聞いたところ、「友達との連絡（81.3%）」が8割を超える結果となり、次いで「音楽を聞く（74.2%）」「動画の視聴（71.4%）」が票を集めました。

(※1) 平均増加時間は、各選択肢の階級値を用いて算出。

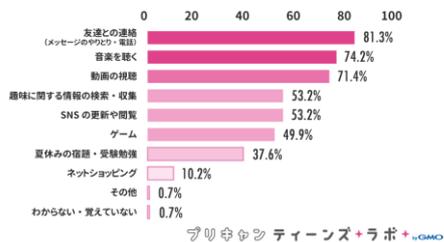
(図7) 夏休みのスマホの利用時間の増減  
[N=606 単一回答]



(図8) 増える時間（1日あたり）[N=423 単一回答]



(図9) 利用時間が増えること [N=423 複数回答]



## ■インターネットで知り合いができたことのある子は6割超！（図10～図13）

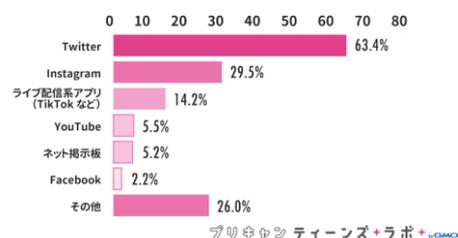
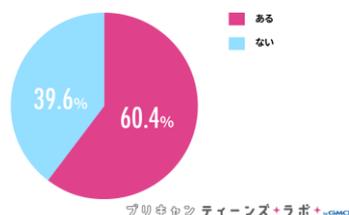
### ～うち「実際に会ったことがある」子は約4割、相手は「同性」が多い結果に～

最近では、SNSを通じて犯罪被害に遭った子が増えていることから、スマホの利用時間が増える夏休みに向けて、警察庁と文部科学省がインターネットの危険性を啓発するリーフレットを作成するなど、スマホネイティブ世代のインターネットの利用について一層の注意喚起が行われています。

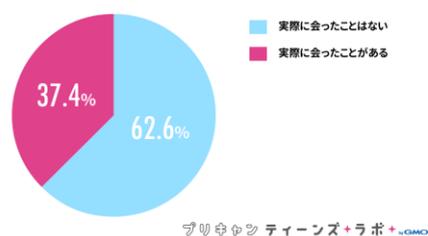
そこで女子中高生に、「インターネットを通じて知り合いができたことがあるか」を尋ねたところ、「ある（60.4%）」が6割超にのびりました。また「知り合いができたサービス」については、「Twitter（63.4%）」が6割超で突出する結果となり、次いで「Instagram（29.5%）」と続きました。

さらに「知り合いができたことがある」と答えた子に、「実際に会ったことがあるか」を聞いたところ、「実際に会ったことがある（37.4%）」が約4割にのびりました。会ったことのある相手の性別については、「同性（89.1%）」が約9割にのびり、「異性（29.2%）」は約3割に留まりました。

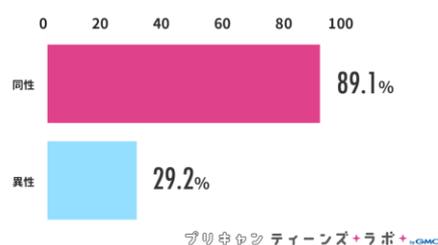
(図10) インターネットを通じて知り合いができたことがあるか (図11) 知り合いができたサービス [N=366 複数回答]  
[N=606 単一回答]



(図 12) 実際に会ったことがあるか [N=366 単一回答]



(図 13) 実際に会った子相手の性別 [N=137 複数回答]

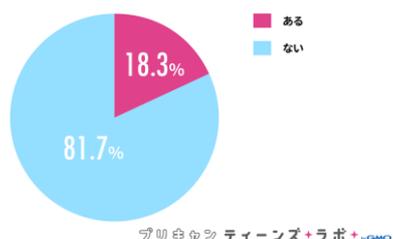


## ■インターネットでトラブルに遭ったことがある女子中高生は約 2 割 (図 14~図 15)

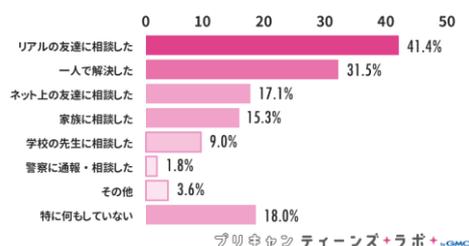
続いて、実際に「インターネットでトラブルを経験したことがあるか」を女子中高生に尋ねました。結果、女子中高生の約 2 割が「ある (18.3%) 」と答えました。

また、「ある」と答えた子に「トラブルを相談した人」を聞いたところ、「リアルな友達 (41.4%) 」が最多となったものの、「一人で解決した (31.5%) 」が 3 割超、「特に何もしていない (18.0%) 」も約 2 割にのぼっており、誰にも相談しない子も多いことがわかりました。

(図 14) インターネットでのトラブルに合った経験 [N=606 単一回答]



(図 15) トラブルを相談した人 [N= 111 複数回答]



## 【本調査の背景】

昨年「プリキャンティーンズラボ byGMO」では、『女子中高生の夏休みのスマホ事情に関する調査』を実施し、夏休みにスマホの利用時間が増える子が多いことや、夏休みのスマホの使い方について把握することができました。

昨今では、青少年におけるスマホの普及に伴って、SNS に起因する犯罪被害に遭った児童数が増加傾向にあり、2017 年は過去最多を記録しています<sup>(※2)</sup>。こうした中、インターネットの使い方を啓発する動きも活発になっています。そこで「プリキャンティーンズラボ byGMO」は、今年も女子中高生の夏休みの「スマホ事情」を探るとともに、インターネットを通じたリアルでのコミュニケーションや、その利用に起因するトラブルについて探るべく、『夏休みとスマホの使い方に関する調査』を行いました。

(※2) 警察庁：平成 30 年 4 月 26 日発表 平成 29 年における SNS 等に起因する被害児童の現状と対策について

## 【「プリキャン byGMO」とは】 (URL : <http://prcm.jp/>)

「プリキャン byGMO」は、“女の子の新しい happy のかたち”をコンセプトにしたコミュニティサイトです。写真と画像でつながるコミュニティサービス「プリ画像」や、気軽に相談・アドバイスがもらえる「プリキャン QA」をはじめとする 10 代の女の子向けのコンテンツを展開しており、2015 年 3 月からは、記事へのコメントや GOOD/BAD 機能を通じてユーザー同士がコミュニケーションできるニュースサイト「プリキャンニュース」を提供しています。

## 【「プリキャンティーンズラボ byGMO」とは】（URL：<http://lab.prcm.jp/>）

「プリキャンティーンズラボ byGMO」とは、「プリキャン byGMO」が設立した、10代の女の子のスマートフォンライフや日常生活を調査・発表する GMO メディア社内に置かれた研究機関です。スマートフォンネイティブである「プリキャン byGMO」ユーザーの日常生活を研究していきます。

### 【本調査結果の引用・転載について】

本調査の一部を引用・転載される場合には、出典として「プリキャンティーンズラボ byGMO」及び調査名称『夏休みとスマホの使い方に関する調査』と URL (<http://lab.prcm.jp/summervacation-and-sns/>) の併記をお願いいたします。

以上

#### 【報道関係お問い合わせ先】

●GMO メディア株式会社 広報担当 森島  
TEL：03-5456-2626 FAX：03-5459-6077  
E-mail：[pr@gmo.media](mailto:pr@gmo.media)

●GMO インターネット株式会社  
グループ広報・IR部 石井・島田  
TEL：03-5456-2695 E-mail：[pr@gmo.jp](mailto:pr@gmo.jp)

#### 【GMO メディア株式会社】（URL：<https://www.gmo.media/>）

会社名	GMO メディア株式会社（東証マザーズ 証券コード：6180）
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役社長 森 輝幸
事業内容	■メディア事業 ■その他メディア支援事業
資本金	7 億 6,197 万円

#### 【GMO インターネット株式会社】（URL：<https://www.gmo.jp/>）

会社名	GMO インターネット株式会社（東証第一部 証券コード：9449）
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役会長兼社長・グループ代表 熊谷 正寿
事業内容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■仮想通貨事業
資本金	50 億円

Copyright (C) 2018 GMO Media, Inc. All Rights Reserved.